

1. 募集人員

10名程度

2. 申請資格

申請できる者は、次の(1)かつ(2)を満たす者、または(3)に該当する者とします。

- (1) 医学薬学府先端医学薬学専攻（4年博士課程）に令和2年4月または10月に入学する者
- (2) 指導教授の承諾を受けている者
- (3) 個別の申請資格審査により、申請資格を有すると認められた者

3. 申請手続

- (1) 申請書受付期間

令和2年3月14日（土）から15日（日）まで

両日とも、9時00分から11時30分、13時00分から16時00分までです。

医学薬学府の入学手続時に「免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム」申請書の受付を行いますので、郵送での申請手続はできません。

また、受付期間内に申請を行わない場合は、申請書は受理できません。

申請に際しては、あらかじめ志望する研究領域・研究室の指導教授に照会のうえ、必ず承諾書も併せて申請してください。

※令和2年度卓越大学院「革新医療創生 CHIBA 卓越大学院」選抜試験との併願について
本選抜試験と令和2年度卓越大学院「革新医療創生 CHIBA 卓越大学院」選抜試験との併願をすることができます。併願希望者は、本プログラム申請書類のうち承諾書（様式2）及び卓越大学院プログラム申請書類一式を併せて提出してください。

- (2) 申請書提出先

千葉大学亥鼻地区事務部学務課卓越大学院プログラム担当

〒260-8675 千葉市中央区亥鼻1-8-1

TEL:043-226-2817

E-mail:igaku-taku@chiba-u.jp

4. 申請書類

下記の書類を揃えて提出してください。

提出書類	摘要
(様式1) 「免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム」選抜試験申請書・写真票、受験票、写真票（2枚）	必要事項を漏れなく記入し、写真2枚を貼り提出してください。写真は、申請前3ヵ月以内に撮影（上半身、正面、脱帽）のもの。縦4cm×横3cmを申請書・写真票に貼付してください。

(様式2) 承諾書	志望する研究領域・研究室の指導教授の署名・押印を受けたうえで、提出してください。
自己アピール用バイオスケッチ	A4PDF形式1枚を3月15日（日）16時迄に亥鼻地区事務部学務課卓越大学院プログラム担当（igaku-taku@chiba-u.jp）へメール添付で提出してください。
TOEIC または TOEFL スコアカードの写し	スコアカードを提出できない場合は、亥鼻地区事務部学務課卓越大学院プログラム担当へ事前に問い合わせてください。

5. 選抜方法等

選抜は、提出された書類、入学試験の成績、本選抜の学力検査及び面接を総合して判定します。

(1) 選抜試験科目

- ① 英語：生命科学に関する英語
- ② グループディスカッション：与えられたテーマでの英語によるグループディスカッション
- ③ 面接：英語による約1分間の自己アピール（自己紹介、研究紹介）及び英語による質疑応答

申請時に提出した自己アピール用バイオスケッチ1枚（A4 PDF形式）を使用します。

(2) 選抜試験日時・会場

月 日	時 間	科 目	会 場
令和2年 3月16日（月）	9：00～10：00	英語	千葉大学 医学部
	10：30～12：00	グループディスカッション・面接	
	13：00～17：30	（受験番号により午前或いは午後）	

6. 注意事項

- (1) 面接時間、場所等については、試験日当日に発表します。昼食を用意して来学してください。
- (2) 申請書類に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- (3) 自家用車での来学は避けてください。
- (4) 入学試験で収集した個人情報を、本選抜の選抜試験の選考に利用します。
- (5) 電話等による可否の問い合わせには一切応じません。
- (6) 選抜試験の過程で収集した個人情報は、選抜試験の実施のほか、管理運営業務、就学指導業務、プログラム選抜方法等における調査・研究に関する業務を行うために利用します。

7. 合格者発表

令和2年3月30日（月） 10時

医学部掲示板に発表（掲示期間4月6日（日）まで）するとともに、合格者には合格通知書をガイダンス時に交付します。また、合格は志望する研究領域の指導教授にも通知されます。

8. 入学後のプログラム履修について

本プログラムに選抜された者は、通常の医学薬学府4年博士課程のカリキュラムに加え、本プログラム独自のカリキュラムを履修します。具体的には、「治療学」に関連する「領域横断科目」9単位、「治療学特論」4単位、「治療学演習」2単位、「治療学実習」1単位の16単位以上を取得することが求められます。また、履修期間には海外の研究機関での研修等も含まれます。

学位審査発表は全て英語で行われます。本プログラム修了者には、博士（医学）又は博士（薬学）が授与されるとともに、「免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム」を修了したことが学位記に付記されます。

9. 「免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム」ガイダンス

「免疫システム調節治療学推進リーダー養成プログラム」を受けることとなる学生へのガイダンスを、入学式の当日行う予定です。ガイダンスの詳細はホームページ等で公表します。